

(資料)

メタボリックシンドロームを意識した生活習慣の改善には 規則正しい口腔ケアの実践を推進することが必要

日本大学歯学部 衛生学教室
前野 正夫 教授



歯周病とメタボリックシンドロームとの関連性については、これまでもいくつかの報告があります。今回の研究では、メタボリックシンドロームが歯周病の進行のリスクになるという点が明らかになりました。特に、20歳代から50歳代という働き盛りの男女からなる集団で関連性が確認された点は興味深いことです。今後は、メタボリックシンドロームの進行に対し、歯周病がどの程度リスクになるのかを明確にする必要があります。

メタボリックシンドロームの該当者が増加傾向にある昨今の社会的状況を踏まえ、若年層を含む有職者においては、全身の健診とともに歯周病の健診を受診し、口腔を健康に保つことが重要であると考えています。

また、メタボリックシンドロームを意識した生活習慣の改善にはかなり強い意志と努力が求められます。したがって、その改善には、まず歯周病予防を目的とした規則正しい口腔ケア（セルフケア&プロフェッショナルケア）の実践を推進し、その実現を通して規則正しい生活習慣の確立に繋げていくことが必要ではないかと考えています。